

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年1月13日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年1月13日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機原子炉建屋補機冷却系熱交換器(B)海水出入口弁のシート漏えいについて】 当直員操作の際、5号機原子炉建屋補機冷却系熱交換器(B)の海水出入口弁にシート漏えいが発生していることを確認。 原子炉建屋補機冷却系熱交換器(A)、(C)系が使用可能であり、補機冷却に問題なし。 今後、当該弁を点検、修理予定。</p>	GⅢ	1月7日
2	<p>【床ドレン収集ポンプ吐出配管からの漏えいについて】 当直員が、床ドレン収集タンク～6号機床ドレン中和タンク(A)への移送時に、床ドレン収集ポンプ吐出配管より鉛筆芯1本程度の漏えいを確認。 調査の結果、床ドレン収集ポンプ吐出配管にピンホールを確認。 応急措置を実施し、10秒に1滴の滴下へ減少したことを確認。現在はバケツにて滴下した水を受けている状況。 なお、滴下している水は、地下水等の非放射性の水であることを確認。 漏えい箇所の応急措置にて、滴下が微少であることから移送は可能と判断。 今後、当該配管を交換予定。</p>	GⅢ	1月8日